

長崎高教組に入ろう！

一子どもたちの未来のため、働きやすい職場の
実現のため、私たち長崎高教組とともに一

いま、高教組はとりくんでいます。

学ぶ

長崎高教組は、よりよい教育実現のため、みんなで学ぶ**教育研究活動**を行い、年に3回の教育研究集会(教研)で全県的な交流を行っています。

夏季教研(8月)＝泊まり込みの教研、各学校の状況を交流します。

県教研(11月)＝教科の実践レポートがいっぱい。為になることばかり。

子どもと教育を語るつどい(2月)

＝父母、生徒とともに学校や教育について語り合います。

教育のつどい(全国教研、8月)＝全国の教職員の教育実践が聴けます。

※教研では様々な講演会もあります。今年度は夏季教育研究集会で、東京三鷹高校元校長土肥信雄さんの講演を開催しました。



▲教育研究集会の様子

実現する

長崎高教組は、**教職員のくらしと権利を守る活動、教育条件を改善する活動**を行っています。教職員の要求実現は高教組なしでは考えられません。

教育長交渉＝4月、職場の教職員の声を教育長に直接伝え、教職員の要求の実現を求めています。週休日の公式戦引率等の振り替えはこの交渉の積み上げで実現しました。

賃金確定交渉＝10～11月、賃金引き上げ、勤務条件の改善、教育条件の改善などのために県教委との交渉をおこないます。仕事で困ったら、高教組を通して要求しよう。

※人事異動、労働安全衛生問題、パワハラ・セクハラ問題など教職員の抱える問題の改善のための交渉もしています。



▲2011年度賃金確定交渉

共同する

長崎高教組は、「**教え子を再び戦場に送らない**」という決意のもと憲法・平和を守る運動にとりくむとともに、国民生活を守るための様々な運動に広く県民・国民と共同してとりくんでいます。

国民平和大行進＝7月～8月上旬県内各地で平和行進が開かれます。長崎高教組はその中核を担って多数の教職員が平和行進に参加しています。一緒に歩きませんか。

脱原発のとりくみ＝「**原発ゼロをめざす長崎連絡会**」がよびかけ、一般市民の方も多く参加している毎週金曜の昼デモや、作家の大江健三郎さんたちがよびかけている「**さようなら原発 1000万署名**」などにとりくんでいます



▲平和大行進の出発集会



▲脱原発屋示威(長崎市)

長崎高教組からあなたへのメッセージ

子どもたちの未来のために「いい授業、わかる授業」がしたい、戦争のない平和な世界を作りたい、教職員のくらしと権利の向上、などの願いを実現するためには長崎高教組の輪を大きく広げることが不可欠です。一人で悩まないで、みんなの力で、よりよい教育と学校づくりをめざしませんか。

加入した若い組合員の声を紹介します。

安心して働ける、本音で話せる場

4月に採用され新しい仕事に慣れないことばかりで困っていました。そんな時、組合員の方が親身になって話を聞いてくれました。組合なら信頼が置けると思いました。組合は「安心して働ける場、本音で話せる場」だと感じています。組合の会議では、職種の違いなどもあって、毎回新しい発見がありとても新鮮です。

子どもを中心に話ができるのはやっぱり組合

講師時代に私を育ててくれたのは組合の先生。常に子どものことを考え、子どもを中心に、少数職種の人を大切に、弱い立場の人を大切にしていこうとしていました。私もそのような先生になりたいと思って、組合で頑張っています。

職場の組合員からのメッセージ